

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【公開番号】特開2012-97245(P2012-97245A)

【公開日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2012-020

【出願番号】特願2010-271676(P2010-271676)

【国際特許分類】

C 09 D 4/00 (2006.01)

C 09 D 5/00 (2006.01)

C 09 D 201/00 (2006.01)

C 09 D 7/12 (2006.01)

C 09 D 4/02 (2006.01)

C 09 D 5/24 (2006.01)

C 08 F 20/34 (2006.01)

C 08 F 26/06 (2006.01)

C 08 F 20/60 (2006.01)

【F I】

C 09 D 4/00

C 09 D 5/00 Z

C 09 D 201/00

C 09 D 7/12

C 09 D 4/02

C 09 D 5/24

C 08 F 20/34

C 08 F 26/06

C 08 F 20/60

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月13日(2013.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記式(I)で表される帶電防止剤である樹脂改質剤。

【化1】



(但し、式中、R¹は炭素数8~22の炭化水素基、B⁺は重合性不飽和基を有するアンモニウムイオン(C)を示す。)

【請求項2】

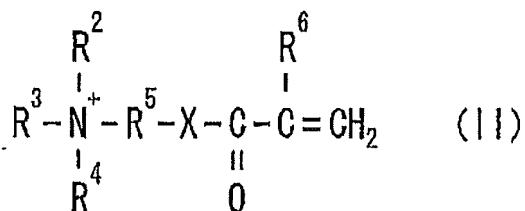
活性エネルギー線硬化性を有する請求項1に記載の樹脂改質剤。

【請求項3】

前記アンモニウムイオン(C)が、下記式(II)又は下記式(III)で表される請

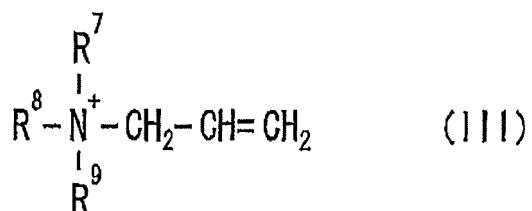
求項 1 又は 2 記載の活性エネルギー線硬化性を有する樹脂改質剤。

【化 2】



(但し、式中、R²、R³、R⁴はそれぞれ独立して水素原子または炭素数1～8の炭化水素基、R⁵は炭素数2～5のアルキレン基、R⁶は水素原子またはメチル基、XはOまたはNHを示す。)

【化 3】



(但し、式中、R⁷、R⁸はそれぞれ独立して水素原子または炭素数1～8の炭化水素基、R⁹は炭素数1～8の炭化水素基を示す。)

【請求項 4】

請求項1～3のいずれかに記載の樹脂改質剤と有機溶媒とを含むコーティング組成物。

【請求項 5】

更に、活性エネルギー線の照射により反応し得る樹脂又は樹脂単量体を含む請求項4記載のコーティング組成物。

【請求項 6】

更に、イオン液体を含む請求項4又は5記載のコーティング組成物。

【請求項 7】

更に、導電性高分子を含む請求項4～6のいずれかに記載のコーティング組成物。

【請求項 8】

請求項4～7のいずれかに記載のコーティング組成物を基材にコーティングした後、活性エネルギー線を照射して、前記基材上にコーティング膜を形成するコーティング膜の製造方法。

【請求項 9】

請求項8記載の製造方法により得られるコーティング膜。